

高岡 大法寺護持会

発行所

〒933-0927
高岡市利屋町67
海秀山大法寺
TEL(0766)23-0115
FAX(0766)23-0125



長谷川等伯考

(10)

第二節

豊織政権と法華衆

文禄四年(一五九五)、豊

臣秀吉は自らが先祖父母追善のために建立した方広寺大仏

殿に、真言・天台・律・禪・

法華・浄土・遊行・一向の仏

教八宗から毎月各々百名の僧

を招き読経させる、いわゆる

「千僧供養会」を修する旨の

招請状を、寺社奉行前田玄以

名で各宗に発配する。他の宗

派はともかく、京都法華宗諸

本山にとっては法華信徒では

ない秀吉が施主となる供養会

への招請に応じ、他宗派の僧

侶と同座で読経することは古

来より厳守されてきた法義

りの法義を厳守し、不出仕を
貫くことを強硬に主張したの
が、妙覚寺日奥上人・本圀寺

寺日重上人・本法寺日通上人

(一五八五) 秀吉は紀州根来

日禪上人の兩名であった。こ

らであった。本圀寺での二日
衆を根絶やしにせんと紀州攻
間にならざる激論の結果、大
方めを行った際、根来寺も攻
めこれを壊滅、多数の僧侶

法華宗存続の道選ぶ

不出仕貫く日奥上人ら「退出」

大法寺住職 栗原啓允

に大きく反することであつ

で、全山破却法華宗壊滅に至

た。この「千僧供養会」への

任督促状が進達される。この時、法華宗側に於て

出仕・不出仕をめぐって京都

張したのが、「安土法論」で「全山破却法華宗壊滅に

法華宗諸本山の対応は大きく

至る」危惧されたことには、これに従い高野山がそう

割れることになった。古来よ

仏心院日洗上人の法弟、本満根拠があつた。天正十三年

なりとも公された事実があつたのである。儀の命令はこの「千僧供養会」への出仕、格別とせ不出仕の選択は、根来寺同様よ」との出公儀の命に背いて宗祖以来の法儀を厳守し、「全山破却法



功德院日通上人
(1551年~1606年)
長谷川等伯筆 重要文化財

法華宗の存続を計るか、まさに教団存続を賭けたギリギリの決断を京都法華宗に迫る出来事であったのである。

この結果、大方の京都法華宗本山は出仕をすることになるのであるが、妙覚寺日奥上人・本圀寺日禎上人は不出仕を買った。この兩名はこのことをもって、程なく妙覚寺・本圀寺を退出することになる。

京都法華宗諸本山の大方が出仕したことによって、政権との全面的対決は回避されたのであるが、これら一連の事件は、従来の中世武家政権とは異なり、宗教勢力といえども自らの権力体制の枠外に置くことを許容しないとの豊織政

権からの強烈な意思表示の結果生じたことであつた。

ここで注目すべきは、本法寺日通上人が一貫して「千僧供養会」への出仕を主張している点である。日通上人には、法儀も含めて従来の法華宗の

価値観が豊臣政権下にあつては全く通用しないという明確な政治的判断があつたと思われる。後述するが、この当時の信春の活動状況にもかかわらず、

政権との全面対決回避

日通上人 信春の才能見抜く

の信春の活動状況にもかかわらず、如き本法寺日通上人の認識は、大きく影響を与えていると考

後援者となるこの功德院日通上人が、本法寺第十世の住職となるのは、天正一四年

京都移住後に信春の最大の後援者となるこの功德院日通上人が、本法寺第十世の住職となるのは、天正一四年

この本法寺日通上人は、堺の豪商にして有力法華町衆の出身である。堺に

る仏心院日洗上人（通称油屋人として、茶会を通して法華衆以外にも公武を含めて幅広い人脈を築いていた。仏心院日洗上人とその弟子本法寺日通上人がこの油屋一族の出身であることは、その当時の京都・堺の有力法華町衆が、諸本山の外護に留まらず、やがて住職さえも自らの一族から輩出していたことの実例である。当然の如く、本法寺日通上人自身も、油屋一族と共に京都・堺に幅広い人脈を有していた。未だ無名の絵師であつた信春の才能を見抜いたことの一事をもってしても、芸術・文化に対する識見に於いてもまた一流であつたと考えられる。

は宗家常言をはじめとして「油屋肩衛」「油屋釜」「囉変天目」「灰被天目」「青磁柑子口花入」など、数多くの名物名器を有し、堺有数の茶

師日洗上人 知命説法 毒像 八月廿五日 於開東中山坊好吉馬

師日洗上人 知命説法 毒像 八月廿五日 於開東中山坊好吉馬



仏心院日洗上人

総合建設業・一級建築士事務所



原建設株式会社

代表取締役 原 龍 治

本社 富山県射水市作道2035-4 TEL (0766) 84-5612 FAX (0766) 84-3598
 福岡支店 高岡市福岡町下老子493 TEL (0766) 64-6199

日蓮聖人御一代記⑪

安全地に白猿が誘導？

日蓮上人 松葉ヶ谷法難逃れる



栗原 啓文

た通り、その内容は現在起

こつている飢饉は法然を中心 夜中に日蓮が小庵に数千人とする念仏や禅の流行に起因 押し寄せて、殺害せんとせしするものであるとし、幕府に かども如何したりけん其の夜対して宗教政策の転換を示唆 の害も逃れぬ

するものであります。そ この文章から、相当な人数のため幕府からの反感を買 で草庵を襲撃したことがわか、その一ヶ月後の八月二七 るわけですが、日蓮上人はど

さて、今回から再び日蓮上人の御一代記に話を戻しましょう。文応元年（一二六〇）七月一六日、日蓮上人は当時鎌倉幕府を取り仕切っていた執権、北条時頼に立正安国論を提出しました。しかし前回までお話して

「下山御消息」という御遺

文にその襲撃の様子が詳細に

えられています。

一つご紹介いたします。

文にその襲撃の様子が詳細に

難した場所は現在法性寺とい

うお寺が建立されており、境

内の奥には日蓮上人が白猿に

誘導されて避難されたと伝え

られる岩窟が残されておりま

す。またこの白猿は、また信

者の少なかつた日蓮上人に供

物をささげていたという話も



法性寺 岩窟

残っています。この白猿は、比叡山の麓にある日吉大社の祭神である山王権現であるという言い伝えがあり、現在でも法性寺には山王権現がお祀りされています。

また、現在日蓮上人の草庵跡として伝えられているのが、安国論寺、妙法寺、長勝寺の三ヶ寺ですが、何れも断定し難く場所は特定できていません。

この松葉ヶ谷の法難の後、上人は下総（千葉県）の富木常忍の下へ行き、ここを中心に教化活動を行っていきます。



食べ物を捧げる猿

大越仏壇株式会社

<JA・全農・指定店>

富山県高岡市福岡町下老子736 TEL(0766)64-4070

～仏壇工房をぜひご見学下さい～



日本の美・日本の心をお伝えする

わたくしがようお世話になつたおばあさんが、つい二ヶ月ほど前亡くなりました。非常に嫁と折り合いが悪かつたのですが、連れ合いが亡くなつた時嫁が良くしてくれ距離が、縮まった。病院へ朝嫁が見舞いに行ったら「来てくれたんね。待つとたんよ」と言つてそこでこと切れた。嫁さんはそれが白慢。臨終のときはものすごく安らか。

臨終のことが心配ですよね。どんな臨終になるやら。大往生の条件は五つあるという。臨終の時に苦しめない、長生きをする、惜しまれて死ぬ、長患いしない、間際に誰かいてくれる。

臨終の時に苦しめない。私も長いことそう思っていたのですが段々と年を取るにつけ疑問に思つたわけ。で、私が出した結論は法華の信仰、お題目を唱える人は死ぬときに苦しむか苦しまんか心配するよりか、日々を心安らかに生きるのが大事。人間を長くやつてますと顔を見るだけでカット腹が立つとか、そういう人が何人かいらつしやるで

しよう。だからそういう人であればもう許してあげることに醍醐味があるんですよ。一人ひとり胸から外すと楽になりますよ。許すはよし、忘るるはなおよし。許すといふのは自分自身が救われるんですね。そういう日々を送っていると、恐らく死ぬときにね、苦しまなくても、苦しみも少なくなつて死ぬるんじゃないかと思ひます。



宗祖お会式

「法華経お題目が報恩」

金沢市全性寺住職 吉田 弘 信

ら臆面もなく生き変えるところには醍醐味があるんですよ。今までずっとこういつていたかましく今までのことを翻して正しいことを言えぱいいわけ。法華の信仰を一生懸命しますとどこかで誰かが必ず惜しんでくれると思ひます。長患いをしてない。日蓮上人は病気になることで神や仏を求めると気が持ちが生まれるよ。だ

きして息子や娘に世話をかけてください。長生きするといふことはだんだん体も頭もよ

う働かんようになってくると、でもそれでいいんです。体が不自由になつても、例えば寝たきりになつても一杯機嫌よくしておつて下さい。世話する方はそれで十分なんです。それで周りが救われます。惜しまれる自信のある人？ 法華の信仰というのは今日か

を唱えているという方もおられるかもしれないですが、ご縁ができてお題目を唱えお自我偈を唱えていることはあなたたちの知らぬ遥か大昔に法華経のご縁が強く深かつたから過去にご縁があつてお題目を唱えているのだから死んだ先にも必ず霊山浄土に行けますよとおつしやつておられる。南無妙法蓮華経。私たちが考えているお題目の功德なんてほんの一握りのご利益しか考えていない。例えば海に行つてバケツで水をすくつて法華の功德はこれくらいやと思つているわけ。海全体が法華の功德。そのくらい功德が大きいんです。親不孝をしてても後悔をしても今お題目を唱えている人は知らないうちに父と母への報恩が出来ていますよ。自分の心には報恩ができていとは思わねどもこの法華経のお題目の力によつてご恩法事が出来ている。信じ切つてお題目を唱えておれば、今生きているとき安穩にして死んだ時よいところに行けますよという風におつしやつています。

から病することもいいんだよと。生老病死これは人生から離れないんです。だから自分が「病む」これも私の人生かなど。間際に誰かいてくれる。日蓮上人はご遺文で、お題目を信じている人は、たとえ一人で亡くなつたとしても、千人の仏さんが来てくださった手を差し伸べて掬い取つてくださるよ。ご婦人の中には嫁ぎ先が日蓮宗だったからお題目

石の造形美を創造する

- 墓石
- 石燈籠
- 神社仏閣用石
- 大理石風呂
- 石塀
- 石仏
- 建築用石材

山岡石材店

■本社(店) / 富山県高岡市向野町5丁目50-1 ☎(0766)22-3590
 ■本社工場 / 富山県福岡町下老子733 ☎(0766)64-3051

本堂で旅の安全祈願後、バスの住職様が当山で支度を整え、バスの出発。ご住職の「晴れ男」らしい慣習から別名がついた通り十一月初旬とは思えぬ青空を眺め暖かい二日間でした。

③妙成寺は日蓮宗北陸本山。元気をもらいました。その後

①初めの目的地、妙立寺到着。前田利常建立の見上げるような屋根、望楼、二十九の隠し階段、金沢城まで続く伝説の井戸、種々の仕掛けがあることから忍者寺とも言われているそうです。

②本成寺では本堂前で両側に整列され、高題目の団扇太開山、今の建物は加賀藩前田

前田家造営の妙成寺も

霊場参拝と能登の旅

鼓で歓迎を受けたことに感銘を受けました。読経後「能登の高題目」を唱和し、本尊の勸請形式、お腹籠もり祖師(火伏せの祖師)にも参拝させて

いただきました。続いて本成寺収蔵品「洛中洛外図小屏風」元旦のみ公開されるどころ、

今回特別に拝観させていただきました。「わらじぬぎの寺」と称されている由来について

二日目、輪島朝市へ。売る人買う人の掛け合いで楽しく買ひ物、輪島の女性たちから

元気をもらいました。その後

輪島の名物である白米千枚田を眺めながら上時国家へ。上時国家は豪壮巨大な伝統と格

式のある建物、庭、調度品などの見学ができ、先人たちの偉大な力に尊敬の念を抱きま



重文・妙成寺前で記念撮影 (11.4)

家初代から五代に亘って造営されたもので、十棟が重要文化財になっています。境内を執事様のご案内で説明を聞き、その後曾々木海岸を眺めながら「庄屋の館」で昼食を取り、能登ガラス工房を見学しました。そして最終の買い物

来年は「酉年」

間もなく平成二十九年を迎えますが、干支はと聞かれたら、皆様「酉年」とお答えになると思

次は60年後「還暦」

このことを暦が還ることから皆様もよくご存知な「還暦」といい、現在行われている還暦のお祝いは、昔は平均寿命も短く、暦が還るまで元気に長生きできず、お祝いする行事として

「干支の話」

岩村 卓義

亥)の十二年周期となっており、十干の干・十二支の支の字を用いて「干支」というのです。また、十二支は元々年月日や時刻・方位などを記述するのに用いられ、本来動物とは全く無関係であり、人々が覚えやすくする為に動物が当てられたといわれています。

正しくは「丁酉」

平成二十九年の正しい干支は「丁酉」ひのと。とり年になります。

大法寺年中行事(前半期行事)

- 元 旦(日) 新年祝祷祈願会
- 二月十六日(木) 厄除け・星祭り祈禱会
- 三月二十日(月) 春季彼岸会
- 三月二十六日(日) 十三詣り
- 六月一日(木) 顕妙稻荷御祭礼
- 六月十八日(日) 永代祠堂法要会

平成二十九年(厄年)

- 男 昭和三十二年(酉)生
 - 昭和五十一年(辰)生
 - 平成五年(酉)生
 - 平成十五年(未)生
 - 昭和三十二年(酉)生
 - 昭和六十年(丑)生
 - 平成十一年(卯)生
- 二月十六日の星除け・節分会の中で厄払いをいたします
- 前厄、後厄も受け付けております
- お早目に申し込み下さい

元旦 初詣

平成二十九年の平安無事を祈る元日
平成二十九年一月一日
午前零時〜午前三時まで
○初詣りに参詣下さいました皆様の御名前を読み上げ平安無事を祈願いたします

平成二十九年年度年回表

- 一回忌 平成二十八年
 - 三 回忌 平成二十七年
 - 七 回忌 平成二十三年
 - 十三 回忌 平成十七年
 - 十七 回忌 平成十三年
 - 二十三 回忌 平成七年
 - 二十七 回忌 平成三年
 - 三十三 回忌 昭和三十年
 - 三十七 回忌 昭和五十六年
 - 五十 回忌 昭和四十三年
- 法要を営まれる際の参考にして下さい

東日本大震災7回忌法要と檀信徒研修会

「素直な人は助かる」

東日本大震災第七回忌法要と檀信徒研修会が十一月二十七日、開かれました。

前中、追悼法要に続く檀信徒協議会総会の後、昼食をはさんで、岩手県釜石市仙寿院住職の芝崎恵應師が「東日本大震災から学んだこと」の演題



芝崎住職講演「大震災から学ぶ」

で、二時間近くお話をしました。仙寿院は高台にあり、津波を免れたことか

ら避難所に。その経験を交えて、分かりやすく話されました。津波が釜石市を襲ったときの生々しい映像も紹介しました。

津波は、大きい波が次々に襲うのではなく、海面が十メートル以上も上がってそのまま襲ってくるのだ、と強調しました。湾が狭くなるほど津波はその分高くなり、釜石で最も高かったのは、三十四メートル、十階建てビルの高さといえます。

「『危ない』と思つて素直に逃げた人たちは助かったが、タ力をくくつてすぐには逃げなかった人たちが命を落としている。素直な人は助かるが、そうでない人は命を落とす、

という教訓だ」と警告しました。「おはようございます」「いただきます」「おやすみなさい」とあいさつする人は行動的で、そうでない人は、動くともしない、と避難してこられた人々について紹介。はじめのある人とそうでない人の違いではないか、と述べられました。(由)

お悔やみ

平成二十八年十月二十日

大法寺檀家総代

石黒 和夫 様

大行院法徳日和居士

が永眠されました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

あつてはならない事件、知的障害者施設で十九人が刺殺され二十六人が重軽傷を負いました。犯人は「知的障害者なんていなくなつてしまえ」などと語り、衆議院議長宛の手紙で施設襲撃を予告、歪んだ考えの持ち主による戦後最悪の惨事となりました。事件を起こす兆候はいくつもありましたが凶行を防ぐことはできませんでした。今後は十分に検証し悲劇を繰り返さないようにしたいものです。

七月以降県民に怒りと落胆、失望が広がった領収証を悪用した議員の政務活動の不正が次々と明らかになりました。不正や不適切な使用が発覚した県議五人、富山市議二十人、高岡市議三人、それぞれ三人、十二人、一人が辞職、全国に広まった汚名の返上をする議会再生が待たれます。

嬉しいニュースは田知本選、登坂絵莉の五輪女王の誕生、個人種目で県関係選手初の金メダルに輝いた二人に県民栄誉賞が贈られ、祝賀会、パレードが行われ県民の熱烈な祝福に満面の笑顔でした。三年連続で二十五人目のノーベル医学生理学賞が大隈良典氏に授与されたこともたいへん嬉しいニュースです。

今年の大法寺年中行事と「東日本大震災七回忌法要・檀信徒研修会」も盛会のうちに終了いたしました。予報によれば今冬は寒く降雪も多いとのこと。皆様におかれましては体調に気を付けられどうぞ良いお年をお迎えください。

(格谷)